

令和6年度都道府県アンケート調査結果について

1. アンケートの目的・概要

アンケートの目的

- 本調査は、アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針（平成29年厚生労働省告示第76号 令和4年3月一部改正）の第5（5）「**国は、国及び地方公共団体等が実施する取組について定期的に調査及び評価を行い、アレルギー疾患に関する状況変化を的確に捉えた上で、厚生労働大臣が必要であると認める場合には、策定から五年を経過する前であっても、本指針について検討を加え、変更する。**」の記載に基づき、都道府県におけるアレルギー疾患対策の取組や状況を把握するべく実施しているものである。

本アンケートの概要

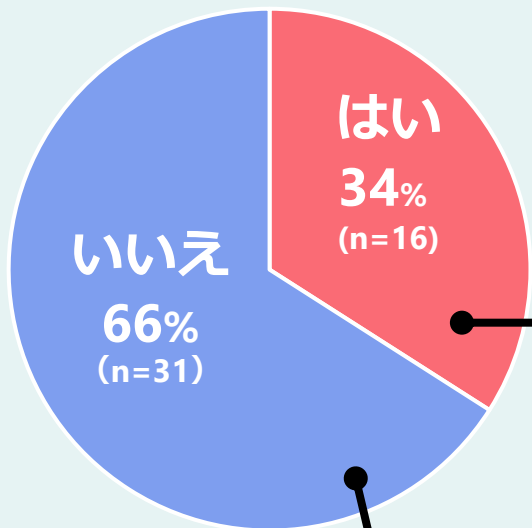
- 本アンケート調査は、平成29年7月28日の「都道府県におけるアレルギー疾患の医療提供体制の整備について」（健発0728第1号）の記載内容に基づいて、都道府県に求められるもの、都道府県担当者としての認識について質問表を作成し、調査を行った。
- 調査時期：2024年7月
- 回収率：100%（47/47県）
- 尚、回答については「各都道府県におけるアレルギー疾患医療連携体制構築に関する研究」班（厚生労働科学研究 免疫アレルギー疾患政策研究事業 研究代表者：海老澤元宏先生）と一部共有した。

2. アンケート内容

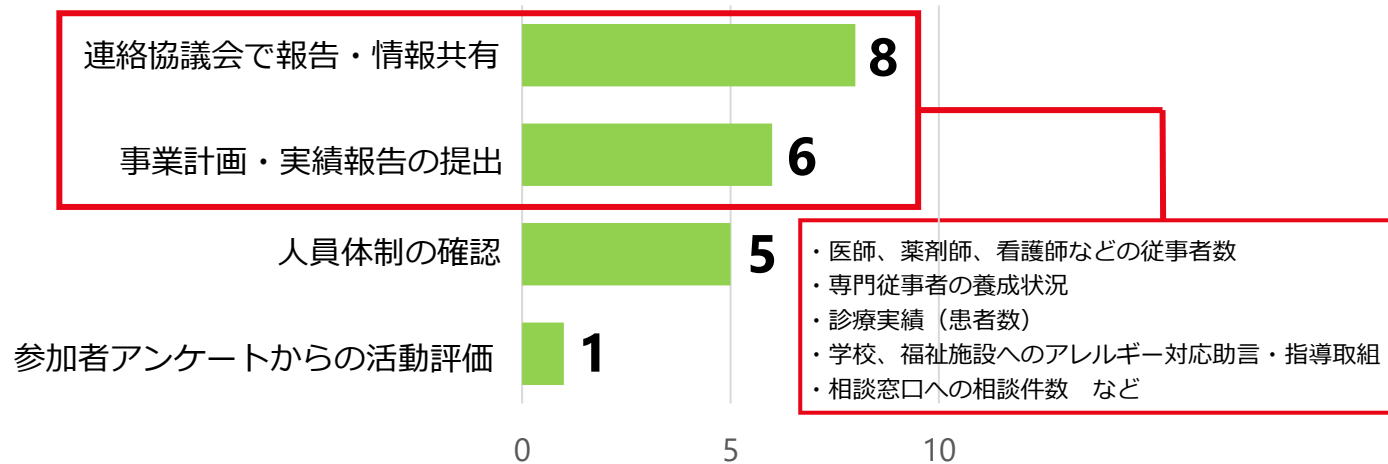
○ 設問は以下の分類に分けて調査を行った。

分類	質問
1. 医療提供体制の考え方	<ul style="list-style-type: none">○ 拠点病院の活動実績等の定期的な評価を行っているか○ 拠点病院の選定見直しを行う予定はあるか○ 都道府県協議会を設置しているか○ 都道府県協議会を活用して策定された計画や事業等施策はあるか○ 都道府県療拠点病院が事業実施主体となった事業を実施しているか○ 「中心拠点病院」の人材育成プログラムに、拠点病院の医療者を派遣したことがあるか
2. 拠点病院の役割	<ul style="list-style-type: none">○ 都道府県協議会で医療従事者の研修が提案・検討されているか○ 都道府県協議会で教職員への講習が提案・検討されたか○ 拠点病院と連携してアレルギー実態調査分析を行ったことがあるか
3. 拠点病院の選定について	<ul style="list-style-type: none">○ 拠点病院の位置は、人口分布や交通の利便性の観点から理想的か○ 拠点病院選定時に各診療科の専門医を確認したか○ 専門医がない場合、連携できる病院に専門医がいることを確認したか
4. 災害対策	<ul style="list-style-type: none">○ 災害時のアレルギー相談窓口を用意しているか○ 災害時のアレルギー対策はどのようなものか

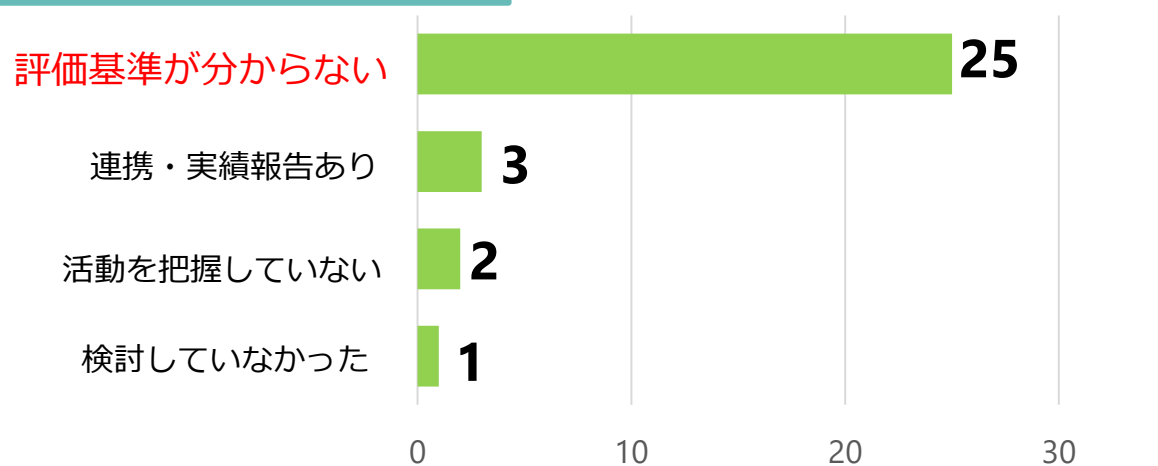
○ 拠点病院の活動実績等の定期的な評価を行っているか



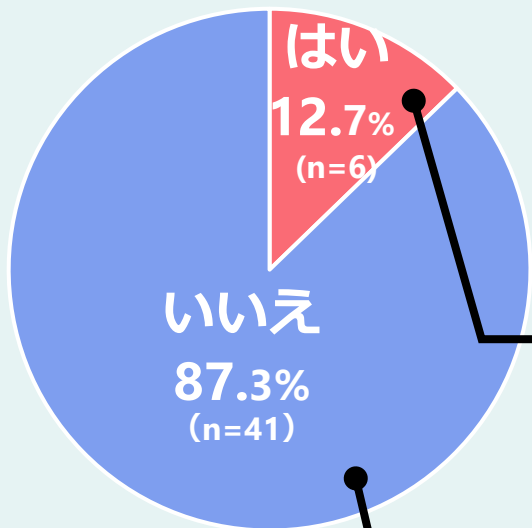
どのような評価方法か？



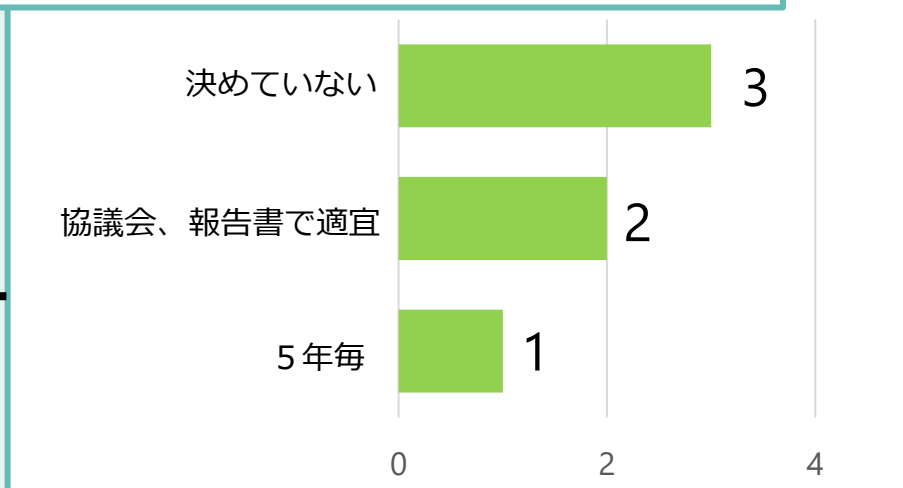
評価を行わない理由は？



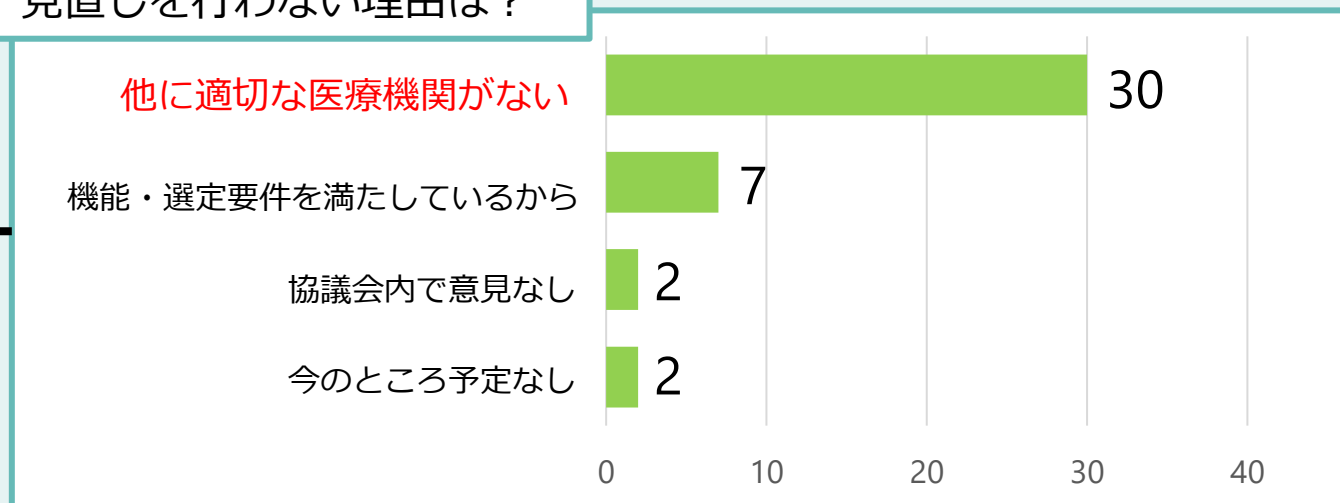
○ 拠点病院の選定見直しを行う予定はあるか



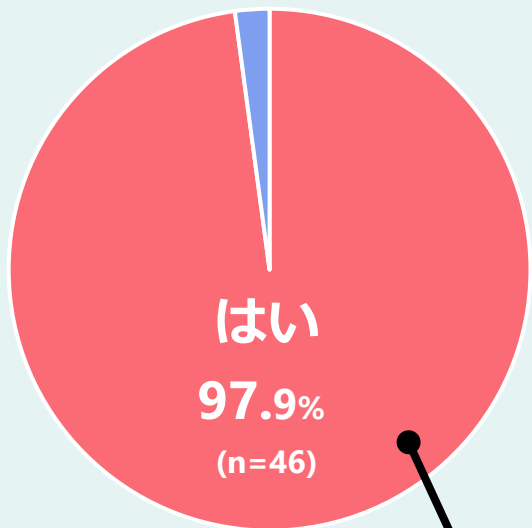
どのくらいの期間を予定しているか



見直しを行わない理由は？

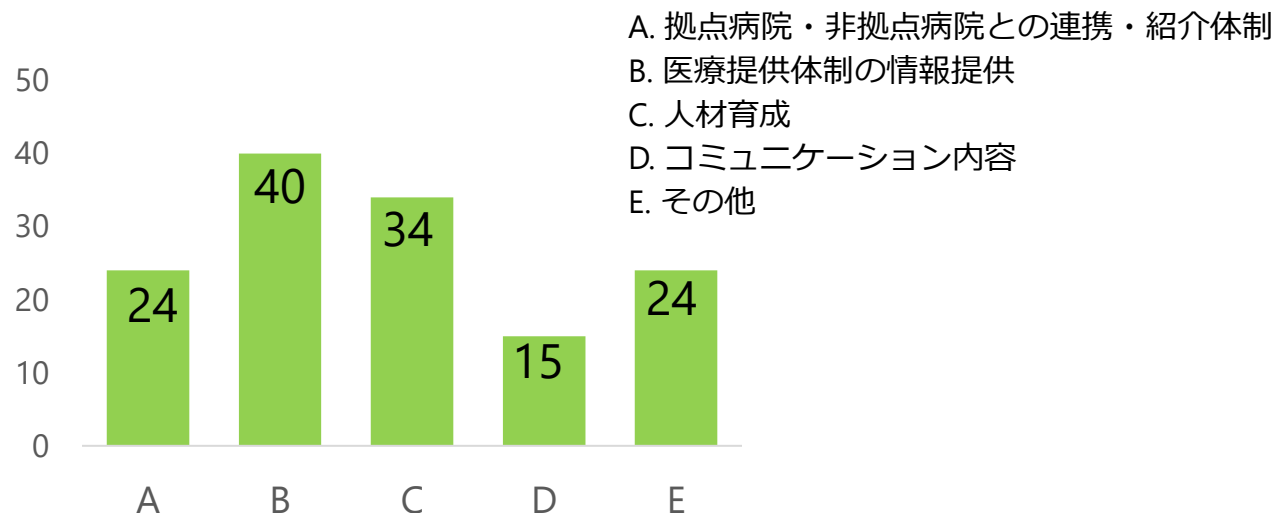


○ 都道府県連絡協議会を行っているか



どのような内容を協議しているか※

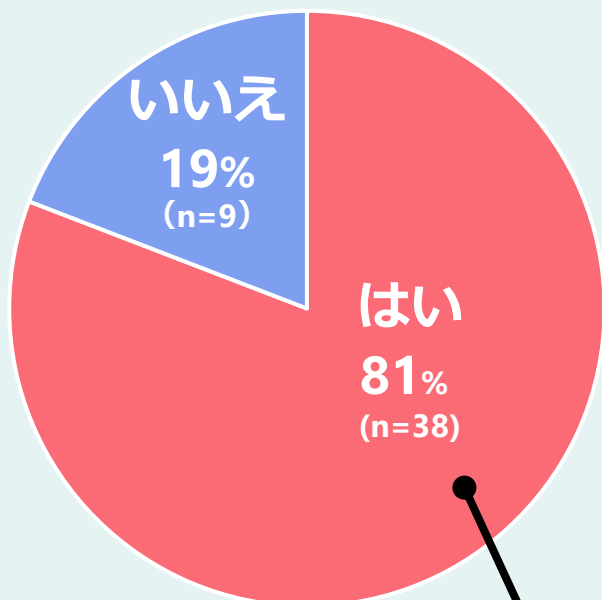
※ 複数回答可



E. その他

- ・ 医療計画/アレルギー疾患対策推進計画の策定・議論（3件）
- ・ 県内のアレルギー疾患の現状、取り組み状況（2件）
- ・ 講習会の立案・検討、情報提供（3件）
- ・ その他：
 - 学校生活管理指導表について
 - 災害時のアレルギー対応食備蓄について
 - 実態調査の結果報告

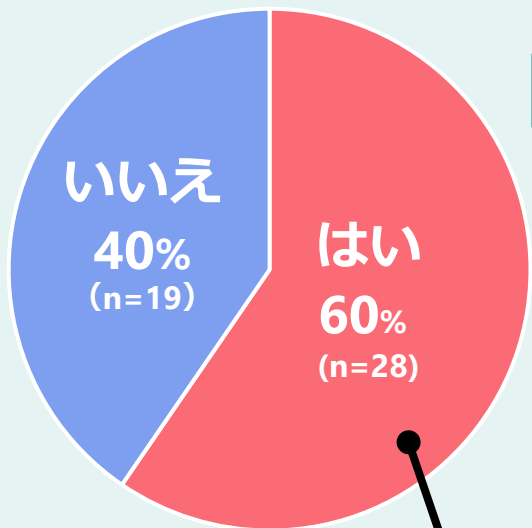
○ 都道府県協議会を活用して策定された計画や事業等施策はあるか



どのような内容か

- ・ **保健医療計画**の内容の策定
- ・ **保健医療計画**に記載されているアレルギー疾患対策
- ・ 医療体制状況調査
- ・ アレルギー疾患医療認定制度

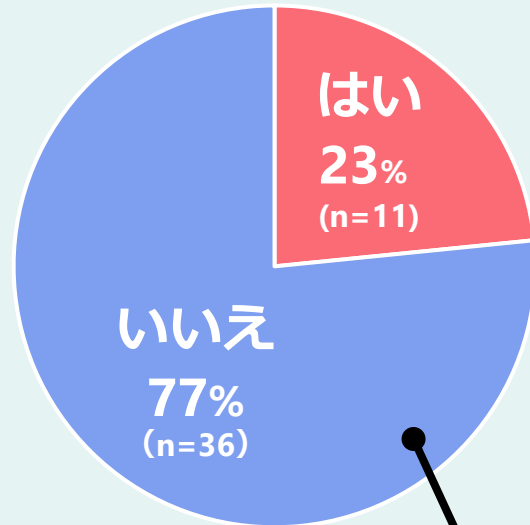
○ 都道府県療拠点病院が事業実施主体となった事業を実施しているか



どのような内容か

人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療従事者向けの研修 ・ 患者在宅医療支援に向けた管理技術の普及 ・ アレルギーセンター勉強会 ・ 先進医療機関への派遣
相談事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援整備 (アレルギー疾患医療コーディネーターの配置) ・ アレルギー相談室の設置 ・ 医療、学校関係者向けの相談窓口設置
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民公開講座の開催 ・ 拠点病院のホームページ作成し、治療法の情報公開 ・ 関係団体への研修会開催
診療連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ アレルギー疾患に携わる実務者会議開催 診療体制の現状と課題の把握

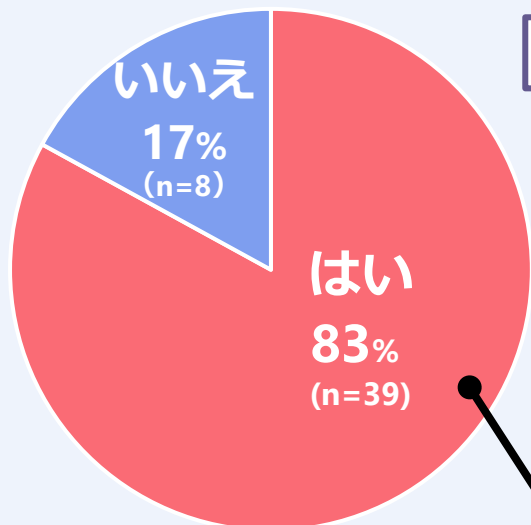
○ 「中心拠点病院」の人材育成プログラムに、拠点病院の医療者を派遣したことがあるか



それは何故か

- ・ 医療従事者の調整がつかない（2件）
- ・ 研修スケジュールが合わない（1件）
- ・ 予算の都合上体制がとれない（2件）
- ・ 研修をしっかりとっており、不要と考えている（2件）
- ・ 状況を把握していない（1件）

○ 都道府県協議会で医療従事者への研修が提案・検討されているか

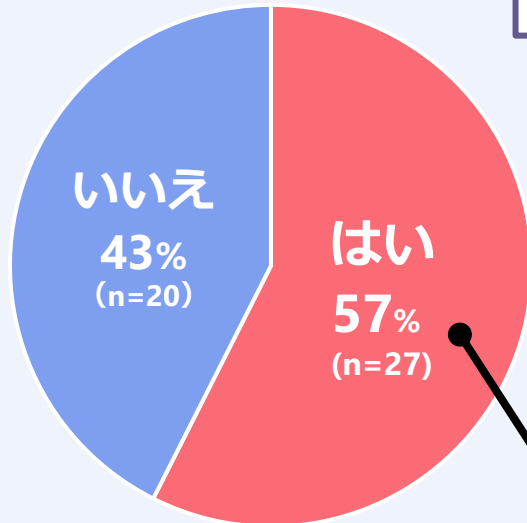


どのような内容か

対象者	件数	主な内容
医療従事者向け	29	アレルギー出前授業（免疫療法研修会） 成人喘息の診断と標準治療 アレルギー専門医療人材育成プラン 小児アトピー性皮膚炎（2件） 食物アレルギー対応研修 アレルギー管理の最前線
拠点病院の薬剤師・看護師・管理栄養士	1	人材育成（派遣研修）
相談支援従事者	3	
療養指導スタッフ	1	
市町村・保健所勤務の 保健師、助産師、看護師、栄養士	1	
母子保健従事者	4	食物アレルギー・アトピー性皮膚炎のケア、予防 赤ちゃんのスキンケア研修会
教職員 （保育所、学校）	3	
給食施設関係者	1	
園学校関係の医療者	1	小児アレルギー診療について
救急救命士・消防士	1	アナフィラキシー対応（エピペン）講習

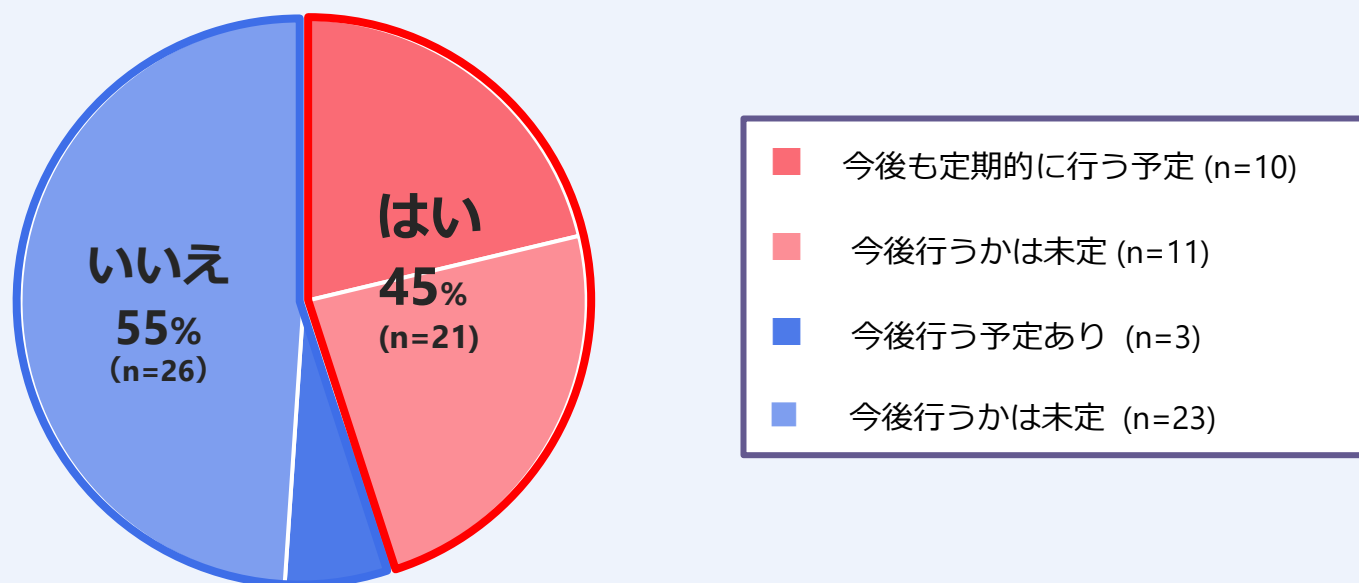
○ 都道府県協議会で教職員への研修が提案・検討されているか

どのような内容か

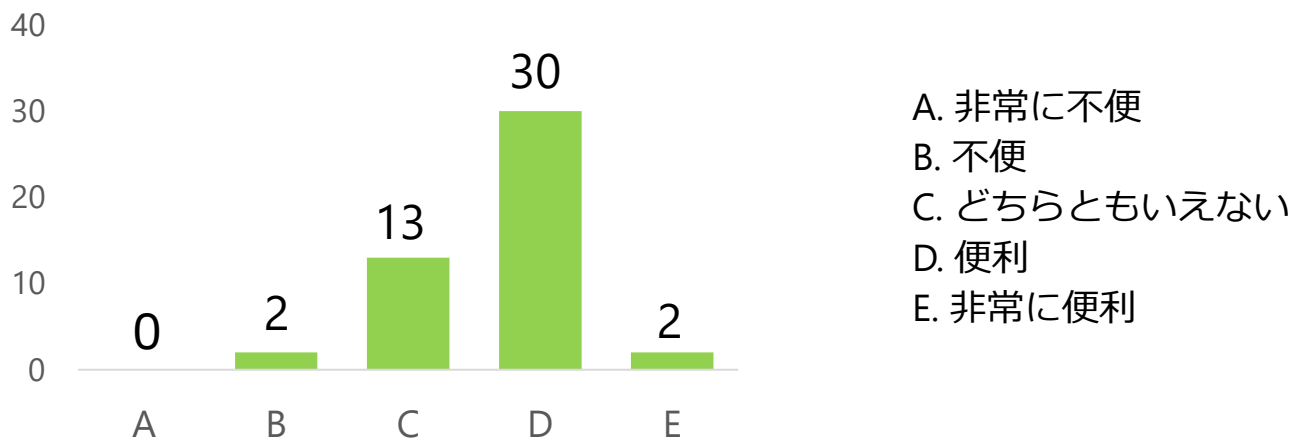


対象者	件数	主な内容
教職員 ・公立教職員 ・中堅教諭	10	エピペン講習会、緊急時対応研修 アレルギー疾患に関する相談実務研修 喘息・食物アレルギー緊急時対応研修 アレルギー対応体制強化研修 食物アレルギー緊急時対応研修 食物アレルギーの発症予防と初期対応 アレルギー管理の最前線 健康教育研修会 アナフィラキシーとその対
保育教諭	4	保育士等キャリアアップ研修、保育専門研修 保育現場におけるアレルギー疾患対策
学校、児童福祉施設職員	4	食物アレルギーオンライン講習会 アレルギー疾患生活管理指導表相談事業 学校における食物アレルギー対応に関する課題検討委員会の 定期開催、教職員向け研修
放課後児童員向け	1	支援員認定資格研修 (e-ラーニング)
養護教諭 ・新規採用 ・中堅	3	アレルギー疾患対応、情報提供 学校給食の安全と充実に向けた研修会 子どもの気管支喘息と食物アレルギー
子育て支援員	1	支援員研修 (e-ラーニング)

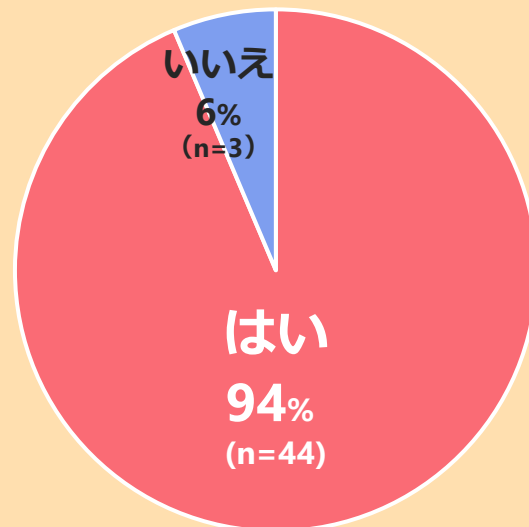
○ 拠点病院と連携してアレルギー実態調査分析を行ったことがあるか



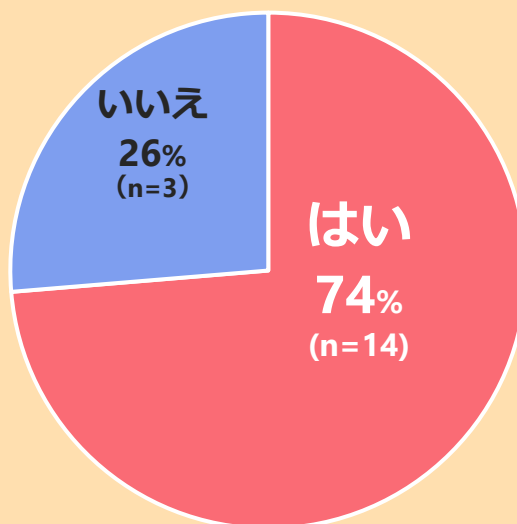
○ 拠点病院の位置は、人口分布や交通の利便性の観点から理想的か



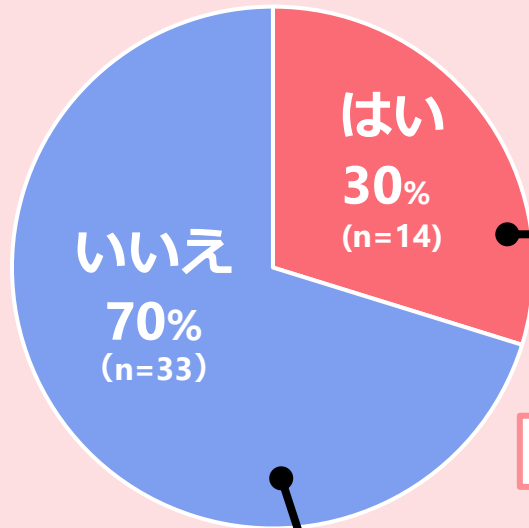
○ 拠点病院選定時に各診療科の専門医を確認したか



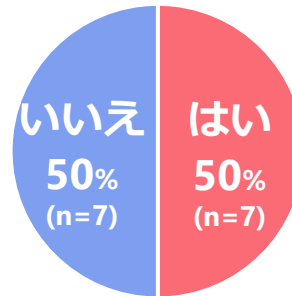
○ 専門医がない場合、連携できる病院に専門医がいることを確認したか



○ 災害時のアレルギー相談窓口を用意しているか



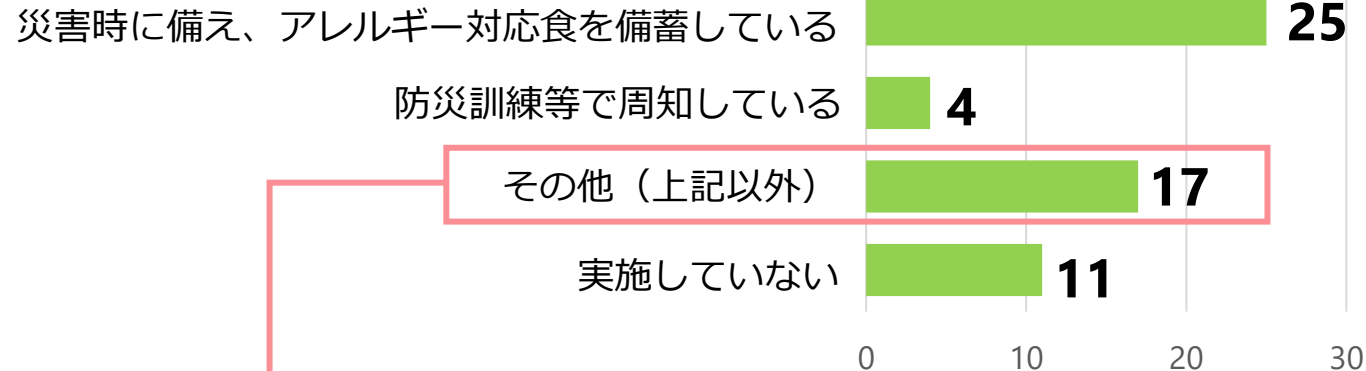
それは拠点病院か



○ 災害時のアレルギー対応相談はどのようにしているか

- ・市町村単位で行っており、都道府県県では設置していない（7件）
- ・保健所に設置する、保健師等が対応する（6件）
- ・日本小児アレルギー学会の相談窓口を活用する（4件）
- ・栄養士会と連携をとる予定（4）
- ・平時からの情報提供のみ（3）
- ・相談があれば個別対応としている（2）
- ・特に行っていない（2）
- ・その他：相談を受けたことがない、アレルギーポータルを紹介、未定・検討中、など

○ そのほかの災害時のアレルギー対策としてどのようなことを行っているか



○情報提供（11件）

- ・ 県独自のホームページで相談窓口やアレルギーポータルを紹介、平時の備えを啓発
- ・ 市民講座、講演会で災害をテーマに取り上げる、動画を放映
- ・ 厚労科研で作成された啓発資材の紹介 など

○その他

- ・ 支援マニュアル等の整備
- ・ 平時から準備すべき防災用品・確認事項についての啓発資料の作成準備
- ・ アレルギー対応食の備蓄は他部局で実施